

R6運動教室の様子

令和7年1月30日(木)本郷幼稚園

日本女子体育大学教授(学科長)の森田陽子先生が本郷幼稚園の親子向けに運動教室を開いてくださいました。

よくみて
よくきいて
かんがえてあそんでみよう。



学年に合わせてのプログラムで、どの学年も遊びの展開の面白さに夢中になって遊びました。頭と体をフルに使い、「やった！出来た！もう一回！」と思える体験となりました。

★ 年少クラス ★



体を使って遊ぼう！自分の体を知り、動きを知ろう

へびさんになって
みよう！
自分の思うへびってど
ういう感じだと思う？



ぞうさんは？
そうだね、ぞうさんってそう歩くよね。
鼻が長いよね。
みんなの思うぞうって、素敵だね。



お母さんと一緒に
うれしいな



体で〇〇を表すってどういうこと？
親子で遊ぶことでその子の自由な表現が認められる心地よさが、
リズム室いっぱいに広がっていました。リズムに乗って楽しく体を
動かすことが今後の運動する力につながるそうです。

森田先生はNHK「いないいないばあ」の「ピカピカブー」の考案者です。こだわって作った点をお聞きする事も出来ました。

パーは基本。体を支える、投げる等の動きです。
ワンワンに敢えて言ってもらうことで、動きを意識するように心がけたそうです。

「腕手指に回転の動き、走る動きがあります。これは3才にならないと出来ない動きだそうです。ちょっと難しいことを入れる事が、子ども達の意欲に繋がるそうです。

★ 年中クラス ★

道具を使って遊ぼう！（バルーン、縄跳び）

4本指が上。この持ち方は鉄棒に繋がる。左右に振ると手首が動く。これはボール投げに繋がるそうです。



この上を歩く遊びでは、はいはいして手足を反対で交互に出す（右手が前の時は左足が前）ことを感じられるようにしているそうです。



みんなで入ろう
どんな世界があるのかな？



おうちの方が協力して子ども達が遊ぶ環境を作ってくれました。子どもが素敵な関わりを学ぶ機会にもなりました。



次は何が出てくるかな？



イメージに合わせてくぐったり、またいだり、飛び跳ねたり。イメージした物の大きに合わせて縄の様子が変わり、自ずと体の動かし方も変わる・・・動作の変化を楽しく体験しました。

★ 年長クラス ★

関わりによってより細かな動きを体験して遊ぼう！

なべなべ底抜け、
どうやる？
8人だったらどう
やってやろうか



どうやれば出来る
のか、友達やおう
ちの人に声を掛け、
考え合いなが
ら遊びました！



ほら焼けてきた、端
のほうから焼けて持
ち上がってきた～

腹筋、背筋
使います！



おうちのひとと一緒に真剣に
やってくれることで、子ども
の心も体も楽しく動くことに
繋がるそうです。



ぬかれる
もんかあ～

子どもたちのつぶやきより

魚になってすごく気持ちよかった。
お母さんに塩をスリスリしてもらって
気持ちよかった。
火がついたら温かくなって、眠くなったよ



ああ～楽しかった！
せんせい、またバルーンやりたい！



保護者の方からも沢山ご感想を頂きました。

年少・年長と参加してみ
て、それぞれの年齢にあっ
た運動で子ども達もお母
さんたちもうれしそうでし
た。家に帰って教わったこ
とをお互いに教え合ってい
ました。素敵な時間をあり
がとうございました。

子どもと一緒に運動するこ
とを共有し楽しむことが子
どもの成長にもつながるこ
とを再確認できました。

職員は森田先生から幼児の運動について、幼児期に体験したいことや、どのように遊びに動きを取入れるのかを学びました。

職員の学びより

人の運動には5つの領域。

どんな運動が出来るかな

(歩く・走る・飛ぶ・回転する・泳ぐ)

幼児期にそれらを少しずつ楽しく経験
するアイデアがわいてきました！



例えばこの遊具だったらどんな運動が出来るんだろう
こういう言い方をしたら、もっと面白くなるかな？と考え
て接していきたいです。

やった、できた、もう一回！

と子ども達が思える体験になるようにサポートしたいです。

本郷幼稚園の子ども達、おうちの方、職員の良い一日となりました。森田先生から「1年後のみんなに会えることを楽しみにしています」とのお話がありました。嬉しいですね。

保護者の皆様、おうちでも体を動かす遊びをお子さんと楽しんでくださいね。